



Cisco EPN Manager 5.1 へのアップグレード

以下の[有効なアップグレードパス \(1 ページ\)](#) のいずれかに従って、Cisco EPN Manager 5.1 にアップグレードできます。

この章では、バックアップ/復元アップグレードを使用して Cisco EPN Manager 5.1 へアップグレードする手順を説明します。

バックアップ/復元アップグレードには、現在インストールされているバージョンの Cisco EPN Manager からのすべてのデータのバックアップ、次に、新しいサーバーへの Cisco EPN Manager 5.1 のインストール、さらに、新しい Cisco EPN Manager 5.1 サーバーへバックアップされたデータの復元が含まれます。



(注) Cisco EPN Manager 5.1 のインストールは、Cisco EPN Manager 5.0 OVA/ISO のインストールと、それに続く Cisco EPN Manager 5.1 UBF のインストールで構成されます。

- [有効なアップグレードパス, on page 1](#)
- [Cisco EPN Manager 6.0 へのアップグレード \(非 HA\) , on page 2](#)
- [Cisco EPN Manager 6.0 へのアップグレード \(高可用性\) , on page 2](#)
- [アップグレード後のタスク, on page 5](#)

有効なアップグレードパス

次の表に、以前のバージョンから Cisco EPN Manager 6.0 へのインストール/アップグレードに有効なパスを示します。

現在の Cisco EPN Manager バージョン	Cisco EPN Manager 6.0 へのインストールパス
Cisco EPN Manager 5.1.3	Cisco EPN Manager 5.1.3 > 6.0

Cisco EPN Manager バージョンのインストールの前提条件と手順については、関連する[インストールガイド](#)を参照してください。

ポイントパッチのインストール手順については、[cisco.com](https://www.cisco.com) の [ソフトウェア ダウンロード サイト](#) のパッチファイルに付属の readme ファイルを参照してください。

Cisco EPN Manager 6.0 へのアップグレード (非 HA)

次のトピックで、標準展開 (高可用性なし) で以前のバージョンの Cisco EPN Manager から Cisco EPN Manager 6.0 にアップグレードする方法について説明します。

- [バックアップ/復元アップグレード \(非 HA\)](#)
- [アップグレード後のタスク](#)

高可用性展開でアップグレードを実行する場合は、[Cisco EPN Manager 6.0 へのアップグレード \(高可用性\)](#) , [on page 2](#)を参照してください。

バックアップ/復元アップグレード (非 HA)

バックアップ/復元アップグレードには、現在インストールされているバージョンの Cisco EPN Manager からのすべてのデータのバックアップ、次に、新しいサーバーへの Cisco EPN Manager 6.0 のインストール、さらに、新しい Cisco EPN Manager 6.0 サーバーへバックアップされたデータの復元が含まれます。これは推奨されるアップグレード方法です。

はじめる前に

- 新しいサーバーがバックアップ元のサーバーと同じハードウェア仕様であることを確認します。
- 以前のサーバーが使用するリモートバックアップリポジトリの場所に注意してください。新しいサーバーと同じバックアップ場所を設定する必要があります。

ステップ 1 『[Cisco Evolved Programmable Network Manager ユーザーおよび管理者ガイド](#)』のリモートバックアップリポジトリに関するトピックに記載されているように、以前のサーバーと同じリモートバックアップリポジトリを使用するように新しいサーバーを設定します。

ステップ 2 『[Cisco Evolved Programmable Network Manager ユーザーおよび管理者ガイド](#)』のリモートバックアップリポジトリに関するトピックに記載されているように、リモートリポジトリのバックアップを新しいサーバーに復元します。

Cisco EPN Manager 6.0 へのアップグレード (高可用性)

以降のトピックで、高可用性展開で Cisco EPN Manager 6.0 にアップグレードするための手順を示します。

[バックアップ/復元アップグレード \(高可用性\)](#)



Note アップグレードが完了するまで、高可用性は機能しません。

バックアップ/復元アップグレード（高可用性）

HA 環境でのバックアップ/復元のアップグレードには、次の手順で詳しく説明する次の基本的な手順が含まれます。

1. HA を削除します。
2. データをリモート リポジトリにバックアップします。
3. プライマリ サーバーとセカンダリ サーバーの両方で Cisco EPN Manager の新規インストールを実行します。
4. プライマリ サーバーでバックアップ データを復元します。
5. HA を再設定します。

はじめる前に

- 展開が一般的な HA 要件を満たしていることを確認します。
- 展開がアップグレード固有の要件を満たしていることを確認します。
- 新しいサーバーが少なくともバックアップ元のサーバーと同じハードウェア仕様であることを確認します。
- 以前のサーバーが使用するリモート バックアップ リポジトリの場所に注意してください（該当する場合）。新しいサーバーと同じバックアップ場所を設定する必要があります。
- HA を有効にしたときに作成したパスワード（認証キー）があることを確認します。このパスワードは、セカンダリサーバーで Cisco EPN Manager 4.1 のインストールを実行するために必要になります。

ステップ 1 プライマリ サーバーで、高可用性設定を削除します。

- a. 管理者権限を持つユーザーとして Cisco EPN Manager にログインします。
- b. [管理（Administration）] > [設定（Settings）] > [高可用性（High Availability）] を選択します。
- c. HA 設定を書き留めます。アップグレード後に HA を再設定するには、この情報が必要です。
- d. 左側のナビゲーション領域で [HA 設定（HA Configuration）] を選択し、[削除（Remove）] をクリックします。
- e. 削除操作が完了するまで待ちます。
- f. 左側のナビゲーション領域で、[HA 設定（HA Configuration）] をクリックし、[設定モード（Configuration Mode）] フィールドに [HA 設定なし（HA Not Configured）] が表示されていることを確認します。

ステップ 2 データをリモート リポジトリにバックアップします。『[Cisco Evolved Programmable Network Manager ユーザーおよび管理者ガイド](#)』のバックアップに関するトピックを参照してください。

Note リモート リポジトリがない場合は、リポジトリを設定します。『[Cisco Evolved Programmable Network Manager ユーザーおよび管理者ガイド](#)』のリモートバックアップ リポジトリに関するトピックを参照してください。

ステップ 3 新しいプライマリサーバーを設定して、以前のプライマリサーバーと同じリモートバックアップリポジトリ (ステップ 2 で使用したリポジトリ) を使用します。『[Cisco Evolved Programmable Network Manager ユーザーおよび管理者ガイド](#)』のリモートバックアップ リポジトリに関するトピックを参照してください。

ステップ 4 プライマリ サーバー (のみ) で、リモートリポジトリからバックアップを復元します。『[Cisco Evolved Programmable Network Manager ユーザーおよび管理者ガイド](#)』のデータ復元に関するトピックを参照してください。

Note プライマリ サーバーでの復元操作の実行のみが必要です。HA が再び有効になると、セカンダリサーバーはプライマリ サーバーと同期されます。

ステップ 5 プライマリ サーバー :

- a. サーバーが再起動していることを確認します。
- b. **ncs status** コマンドを実行して、ヘルス モニター プロセスとその他のプロセスが再起動したことを確認します。最低でもヘルス モニター、データベース、NMS、SAM デーモン、DA デーモン、コンプライアンス エンジンの各サービスが稼働していることを確認します。最適な Cisco EPN Manager 機能を使用するには、すべてのサービスが稼働している必要があることに注意してください。

ステップ 6 プライマリ サーバーの **ncs status** 出力に **Compliance engine is stopped** が表示される場合は、次の操作を行います。

- a. Cisco EPN Manager を停止します。

```
ncs stop
```

- b. Linux CLI ルート ユーザーとしてログインします。
- c. ソフトリンクを使用してタイムゾーンを更新します (次のコマンドは 1 行です)。

```
ln -sf /usr/share/zoneinfo/$(grep ^clock /storedconfig/active/startup-config | cut -d " " -f 3) /etc/localtime
```

ステップ 7 復元が完了したら、プライマリサーバーでアップグレード後のタスクを実行します。「[アップグレード後のタスク](#)」を参照します。

ステップ 8 プライマリサーバーにセカンダリサーバーを登録して HA を再設定します。ステップ 1 で保存した情報を使用します。登録プロセスはプライマリサーバーから実行する必要があります。詳細については、『[Cisco Evolved Programmable Network Manager ユーザーおよび管理者ガイド](#)』のプライマリサーバーへのセカンダリサーバーの登録に関する項を参照してください。

アップグレード後のタスク

- Cisco Smart Licensing を使用している場合、cisco.com の Cisco Smart Software Manager (CSSM) に、Cisco EPN Manager を再登録します。『[Cisco Evolved Programmable Network Manager ユーザーおよび管理者ガイド](#)』のライセンスの管理を説明するトピックを参照してください。
- すべてのデバイスのインベントリを次のようにデータベースと同期します。
 1. Cisco EPN Manager GUI で、[モニター (Monitor)] > [ネットワーク デバイス (Network Devices)] を選択します。
 2. すべてのデバイスを選択し、[同期 (Sync)] をクリックします。
- アップグレードされた Cisco EPN Manager サーバーへの接続を試行する前に、Cisco EPN Manager の以前のバージョンにアクセスしたすべてのクライアント マシンのブラウザ キャッシュをクリアするようにユーザーに指示します。
- アップグレード前に外部 AAA を使用していた場合は、外部認証をもう一度設定します。『[Cisco Evolved Programmable Network Manager ユーザーおよび管理者ガイド](#)』のユーザー管理に関するトピックを参照してください。
- アップグレード中に、Cisco EPN Manager ホーム ページがデフォルトのホームページ ([はじめに (Getting Started)] ページ) にリセットされます。ユーザーは、[はじめに (Getting Started)] ページまたはページの右上にある [設定 (Settings)] メニューから、独自のデフォルト ホーム ページを選択できます。

既存のタブの新しいダッシュレットは、アップグレード後に自動的に追加されることはありません。ダッシュレットはダッシュボードメニューの [設定 (Settings)] > [ダッシュレットの追加 (Add Dashlet(s))] から手動で追加できます。

新しいダッシュボード タブが自動的に追加されます。

